

北九州市からのお知らせ

被災地の復興に向けた 災害廃棄物(がれき)の処理について

東日本大震災により発生した災害廃棄物(がれき)の量は膨大で、処理が進まず、被災地の復旧と復興の大きな障害となっています。そのような中で市議会は、全会一致によりがれきの受入れに関する決議を行いました。北九州市としても、「**がれきの処理なくして被災地の真の復興はあり得ない**」と考え、その受入れの方法や健康への影響などについて、具体的な検討を行っています。5月1日には、専門家の方にもお集まりいただいて「第1回災害廃棄物の受入に関する検討会」を開催し、貴重なご意見を伺いました。今後、市内の焼却工場で試験焼却を実施することとしており、その結果も市民の皆様へお知らせします。



石巻市の状況 (平成24年3月現在)

- 死亡:3,596名
 - 行方不明:535名
 - 建物被害:全壊2万4,887棟
半壊1万2,100棟
 - 災害廃棄物の量:推計616万トン
- ※推計は随時見直しを行っており、量は変動します。
- 放射線量:0.02~0.07マイクロシーベルト/h
(4月5日測定)
- ※北九州市の放射線量と同程度の数値です。

石巻市の災害廃棄物の処理方法

